

平成30年度ふくしま復興フェア

平成30年7月
地方連携推進室

7月20日、外務省と福島県の共催で「ふくしま復興フェア」を開催しました。本フェアは、福島県産の果物、加工食品、菓子、飲料、銘酒等の展示・販売及び観光PR等を通じて、福島県の物産品や観光等の魅力及び同県の復興状況を発信する目的で行われるもので、外務省を含む関係各省庁（総務省、農林水産省、法務省、文部科学省・金融庁、特許庁、厚生労働省・環境省、復興庁・消費者庁、国土交通省、経済産業省（一部省庁は合同で開催））が7月19日から8月10日まで、リレー方式で開催しているものです。



フェアの様子



フェアの様子



福島県産の桃を試食する外交団



福島県の復興状況の
説明を受ける外交団



フェアを視察する
佐藤外務副大臣



大人気の復興シンボルキャラクター
「キビタン」

外務省で実施した本フェアは、省員に加えて駐日外交団、外国商工会議所等にも呼びかけを行い、欧州連合代表部をはじめ、35の公館・組織から17名の大使を含む計50名の外交官等に御参加いただきました。

当日は、旬を迎えた福島県名産の桃をはじめ、数多くの特産品を販売したほか、観光PRのためのパンフレット等を配布しました。桃や菓子などの特産品は完売となる盛況ぶりで、また、参加した外交団等からは、「福島への復興に貢献できて嬉しい」「このような機会は大変貴重」といった意見が出されるなど、福島の実況を正しく認識・理解していただく大変良い機会となりました。

外務省では、このような取組のほか、今後とも福島県をはじめとした東日本大震災の被災県等の風評対策を支援する様々な対外発信事業を実施していく予定です。

(了)